

airbnb 《ペットと楽しく快適に旅行をするためのAirbnbヒント集!》

リサーチ



- 1 「ペットOK」フィルターで宿泊先を検索

予約・ホストと確認



- 2 事前にホストとコミュニケーションをとってペットとの滞在に関する不明な点を確認しましょう。

準備・持ち物



- 3 愛犬のための必須アイテムを準備

移動



- 4 安全確保のために、移動中はクレートに入れ、こまめに休憩をはさみましょう。

★事前に犬が車に乗れるかチェック、車移動に慣れるための練習が大切。

チェックイン



- 5 散歩がてらトイレを済ませて、タオルなどで足と体を拭いてから入室しましょう。

滞在



- 6 知らない場所なので、特にはじめは目を離さず、滞在中は愛犬と寛いでお過ごしください。

チェックアウト



- 7 汚れた箇所を消臭・洗浄スプレーで念入りに処理し、忘れ物もないか念入りにチェック。

帰宅後



- 8 ワンちゃんをゆっくりと休ませてあげましょう。

airbnb 《ペットと楽しく快適に旅行をするためのAirbnbヒント集!》

🔍 リサーチ・予約・ホストと確認

- 🐾 Airbnbでペットフレンドリーな宿泊先を選ぶには、ペットOKの検索機能を活用しましょう。
- 🐾 事前にホストとコミュニケーションをとって、ペット同行の旨を伝え、またペットが入れるエリアや用意されているものなど不明な点をチェックしましょう。
- 🐾 周辺にペットと遊べる場所や、万が一のために動物病院がどこにあるかなど宿泊先近くの施設をチェックしておくことが良いでしょう。
- 🐾 旅行の予約前に、ワンちゃんが車に乗れるかチェックをしましょう。
- 🐾 人と同様にペットも酔うので、専門家にアドバイスを仰ぐことや、車での移動に慣れるための練習をしておくことが大切です。

🧳 準備・持ち物

- 🐾 首輪、ハーネスリード(ダブルだとなお良い)
- 🐾 食べ慣れているごはんやおやつ
- 🐾 ごはんと水の器、水筒
- 🐾 馴染みのおもちゃ
- 🐾 タオル&ウェットティッシュ
- 🐾 ペットシーツ&トレイ
- 🐾 マナーベルト
- 🐾 毛取りクリーナー
- 🐾 消臭・除菌スプレー
- 🐾 移動や宿泊先でのお留守番に使う、クレート or ペットケージ
- 🐾 旅行前の身支度(トリミングやシャンプーなど)

🚗 移動

- 🐾 車での移動の2時間前には、ごはんを済ませておくことが良いでしょう。
- 🐾 安全確保のために、移動中はクレートに入れてください。クレートは犬にとってのプライベート空間です。
- 🐾 ★日頃からクレートトレーニングをして、中で落ち着いて休めるようにしておくことが大切です。
- 🐾 水を飲ませたり、軽く散歩をして外の空気を吸うなど、1時間半~2時間の間隔で休憩ををさむとワンちゃんの気分もリフレッシュします。
- 🐾 ワンちゃんにとって車内の適温は18~25度です。

🏠 チェックイン・滞在

- 🐾 現地の宿泊先についたら、まずはワンちゃんが逃げちゃうようなスペースはないかなど宿泊先の全体をチェック。
- 🐾 室内では、ペットシーツ&トイレのトレイを設置して、適切な排泄場所を用意しましょう。
- 🐾 外で排泄するワンちゃんは、周囲を散歩して、トイレを済ませてから宿泊先に入ると安心です。
- 🐾 ワンちゃんの足と体を拭いてから室内に入りましょう。
- 🐾 毛が抜けやすいワンちゃんは、服を着せて、毛が舞わないようにしましょう。
- 🐾 お部屋では、ハウスを設置しましょう。自分の居場所をつくってあげるとワンちゃんは落ち着きます。
- 🐾 怖がったり、不安にしている子には、好きなおやつをあげると良いでしょう。
- 🐾 マーキングをしてしまうようなら、マナーベルトの装着がおすすめです。
- 🐾 インテリアや花瓶などいたずらされる可能性のあるものは、ワンちゃんの手の届かない場所に移動しましょう。
- 🐾 お水やお飯を置くときは、直接置かず新聞紙やシート、タオルなどを敷きましょう。
- 🐾 知らない場所なので、特にはじめは目を離さないようにして、見守ってあげてください。

🏠 チェックアウト・帰宅

- 🐾 宿泊先をチェックアウトするとき、汚れている箇所はないか確認し、見つけた場合は、消臭・洗浄スプレーで念入りに処理をしましょう。
- 🐾 小さなおもちゃなど忘れ物がないか、隅々までチェックしましょう。
- 🐾 毛がソファなどについていたら、毛取りクリーナーできれいにしてきましょう。
- 🐾 帰宅後は、テンションをあげるようなことはせず、ゆっくり休ませるのが良いです。



動物の精神科医・奥田獣医師推奨!

監修:奥田 順之(おくだ・よりゆき) 獣医師 ぎふ動物行動クリニック院長 / NPO法人 人と動物の共生センター代表
日本で11人しかいない、獣医行動診療科認定医の一人。年間120症例以上の問題行動を診察。動物行動の専門家として、ペット産業の適正化に取り組んでいる。著書に『動物の精神科医』が教える犬の咬みグセ解決塾(2018)』『ペット産業CSR白書(2018)』がある。